昨年１２月２４日に行われた安芸南組報恩講仏の子の集いの様子。風船で動物など色々なものを作るバルーンアートに大はしゃぎの参加者の仏の子（於：西教寺蔵本通支坊）。

# 親鸞聖人750回大遠忌のご消息発布

（註①）

1月9日、本山・総御堂において「親鸞聖人750回大遠忌についてのご消息発布式」が行われました。消息とは親鸞さまを始め歴代宗主の手紙のことをいいます。これを受け、安芸教区では2月１０日、広島別院においてご消息披露総局巡回が行われました。以下がご消息の全文。

## 親鸞聖人七百五十回大遠忌についてのご消息

平成二十四年一月十六日は、宗祖親鸞聖人の七百五十回忌にあたります。（註②）本願寺では、ご修復を終えた御影堂において、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を平成二十三年四月よりお勤めすることになりました、このご勝縁に、聖人のご苦労をしのび、お徳を讃えるとともに、浄土真宗のみ教えを深く受けとめ、混迷の時代を導く灯火として、広く伝わるよう努めたいと思います。

親鸞聖人は承安三年に御誕生になり、九歳で出家得度され、比叡山で学問と修行に励まれました。しかし、迷いを離れる道を見いだすことができず二十九歳の時、聖徳太子の示現を得て源空聖人に遇われ、本願を信じ、念仏する身となられました。三十五歳の時、承元の法難により、越後にご流罪となられますが、後にはご家族を伴って関東に移り、人びとと生活をともにし、自信教人信の道を歩まれました。晩年は京都で、ご本典の完成に努められるとともに三帖和讃など多くの著述にお力を注がれ、九十歳を一期として往生の素懐を遂げられました。

親鸞聖人によって開かれた浄土真宗は、あちゆる人びとが、阿弥

西教寺報

第９８号
仏歴2548（2005・平成17）年
３月３０日発行
呉市中央７−７−１３
西教寺蔵本通支坊
TEL0823（21）2798
FAX0823（21）2795
郵便振替番号
01340−3−29117

## 紙面

親鸞聖人七五〇回大遠忌のご消息発布……一頁
住職よりひと言：岩崎正衛……二頁
編集者註「大遠忌」という呼称……三頁
編集者註「親鸞さまの没年代訂正……三頁
敬悼録……四頁
敬悼神田ユキノさん……四頁
敬悼金川ハフサヱさん……四頁
敬悼蔵下ハル子さん……四頁
倶会一処：多田大樹法務員……五頁
みみずくの会が発足……五頁
住職の遺言？−中央プロック研修会−……六頁
西教寺長ノ木本坊本堂修復情報……六頁
五十年間一日も欠かさず……七頁
おとりこし・ご正当報恩講つとまる……七頁
環境問題を考える−現代に向き合う連研……十頁
総代に吉中さん……十頁
お礼……十一頁
法座・行事・例会のご案内……十二頁
誓子の日記……十二頁